

科目	メディカルリスク・マネジメント論	担当	北野 達也	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

医療機関においては、患者の方々の安全・安心、継続的な医療の質の確保のため、医療事故防止、医療訴訟対応のみならず、医療をめぐる内外環境の変化や、組織・個人のリスク(医療専門職・医療従事者の人事管理・健康管理など)にも対応しなければならない。さらにはリスクコミュニケーション、オペレーションリスク、情報漏洩リスク、リスクファイナンス、危機管理等々総合的なリスクマネジメントが必要である。ここでは、医療機関におけるリスクマネジメントのあり方、その組織を指導・管理し、継続的な組織活動を構築するための総合的なリスクマネジメントの実践手法について学ぶ。

【履修注意】

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁、10回以上出席を条件とする。
※「メディカル・リスクマネジメント論」は医療マネジメントコース必修科目である。

【評価方法】

①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、出席状況、レポートなど):40%

【試験について】

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件:総合(期末テスト及び授業参加・レポート等)による評価が60点未満の学生
※但し、総合による評価が40点未満の学生は不合格とし、再試験を実施しない。

【予習・復習】

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	Introduction	メディカル・リスクマネジメントとは?RMの定義、医療の原点
2	リスクマネジメントⅠ	企業リスクマネジメント、歴史的背景、RM導入の目的、CSR
3	リスクマネジメントⅡ	医療におけるリスクマネジメント、病院構造・組織、専門職規範
4	Enterprise Risk ManagementⅠ	ERMとは?ERM導入の目的、ERMの組織体制づくり、CRO、WS等
5	Enterprise Risk ManagementⅡ	ERMのリスク管理、コンプライアンス、リスクの移転、シナリオ分析
6	Enterprise Risk ManagementⅢ	オペレーショナル・リスクマネジメント、情報セキュリティ、内部監査
7	Enterprise Risk ManagementⅣ	クライシス・マネジメント、BCP、ファイナンス・リスクマネジメント
8	中間まとめ	1~7まとめ(レポート)
9	メディカル・リスクマネジメントⅠ	メディカル・リスクマネジメントの定義、目的、プロセス、評価
10	メディカル・リスクマネジメントⅡ	組織・個人のリスク管理、個人情報保護とリスク、ICのあり方
11	メディカル・リスクマネジメントⅢ	コンプライアンス、リスクファイナンス、オペレーション・リスク
12	メディカル・リスクマネジメントⅣ	リスクコミュニケーション、医療メディエーション、患者満足度:GW
13	メディカル・リスクマネジメントⅤ	危機管理、災害対策、医療提供継続計画作成、ポートフォリオ:GW
14	メディカル・リスクマネジメントⅥ	内部監査のあり方、Quality Managerの役割、院内評価:演習Ⅰ
15	メディカル・リスクマネジメントⅦ	ワークショップ立上げ、院内質・安全管理体制構築の手法:演習Ⅱ
16	期末試験	15コマの復習・確認・まとめ